授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
臨床看護総論	2年次	後期	1	30	有

科目責任者	長谷川努
授業概要	看護の基本として共通する健康上のニーズを持つあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の基礎知識や技術を統合し応用するプロセスを学ぶ。
目標	1. 健康状態の経過に基づく看護を理解できる。 （周術期・緩和ケア・終末期） 2. 臨床検査を受ける患者への説明と注意点がわかる。 3. 検体の採取方法、保存・移送方法がわかる。 4. 医療機器の管理について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	化学療法を受ける患者の看護	認定看護師	講義
2	外科的治療の実際　（基本手技・創傷管理）　（低侵襲治療　画像ガイド下の治療）	手術室看護師	講義
3	手術療法を受ける患者の看護・術前トレーニング（オリエンテーション）・術後合併症の予防	手術室看護師	講義
4	手術療法を受ける患者の看護（術中） 直接介助・関節介助（看護師の役割）麻酔導入介助	手術室看護師	講義
5	手術療法を受ける患者の看護（術後）　集中治療を受ける患者の看護：早期離床・術後合併症・異常の早期発見	手術室看護師	講義
6	臨床検査：侵襲を伴う検査・治療	臨床検査技師	講義
7	放射線医学：画像診断（Ｘ線診断・ＣＴ・ＭＲＩ・超音波検査）	放射線技師	講義
8	医療機器の原理と実際：使用する環境・測定用医療機器・治療用医療機器	臨床工学技士	講義・演習
9～13	腫瘍内科 （薬物療法・化学療法・放射線療法・緩和ケア）	大山	講義
14 15	人生の最後の時を過ごしている対象の理解（患者・家族の実際）	瀬良 チャプレン	講義

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　臨床看護総論　基礎看護学④　医学書院 系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論　医学書院 系統看護学講座　別巻　がん看護・緩和ケア/臨床放射線医学/臨床検査　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）